

—若手技術者のコーナー—

図面をカタチに！



1. はじめに

豊川市は、愛知県南東部に位置し、北側には県立自然公園指定の本宮山、東部には一級河川豊川、そして南部には波穏やかな三河湾がみられる、「山、川、海」の自然環境豊かなところである。

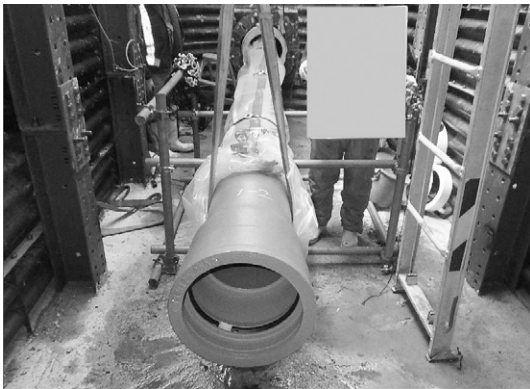
私は、豊橋技術科学大学大学院を修了後、建設コンサルタント会社に3年間就職したのち、平成24年度に土木技師として採用され8年目となる。

2. 担当した業務内容

私の入庁後の経歴は、水道整備課を6年間経験した後、都市計画課に異動して2年目である。

水道整備課では、豊川市内の耐用年数を迎えた水道管及び基幹管路の耐震化のための布設替工事を中心に行ってきた。私が担当した一例として、鉄道下の老朽管路の布設替工事を紹介する。

鉄道下の水道管の布設は開削工法では鉄道営業線への支障があるため、小口径推進工法によりさや管路を先行貫入し、その中にポリエチレンスリーブ付のGX形铸铁管を挿入する二重管構造にて管路の新設を行った。

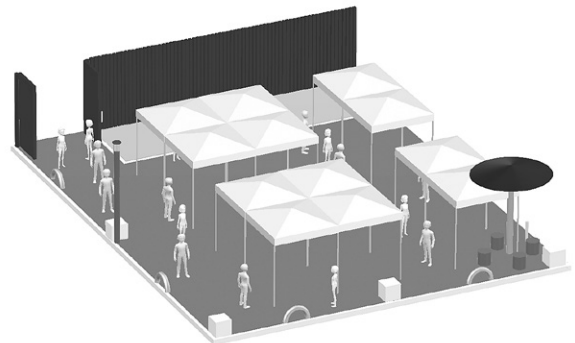


鉄道下に布設するGX形铸铁管

新管へ通水した後は、既設管路内にモルタル充填を行うことで布設替工事を完了した。工事期間は半年ほどであったが、推進工法中に推進器が線路手前で支障物により進まなくなるトラブルがあった。その際、停止した箇所の上に立坑を設置して原因把握し、支障物を除去する対応を行った。当時、対応の検討や関係機関への説明などで苦慮したが、とても良い経験になったと考えている。

都市計画課では、豊川市立地適正化計画において設定された都市機能誘導区域内での未整備の駅前広場、駅前アクセス道路やポケットパーク整備等の計画、関係機関との協議、設計及び施工監理といった多種多様な業務を担当している。都市機能誘導区域は、JR及び名鉄の4路線が乗入れる本市の特長を生かし、生活利便性や地域コミュニティ、にぎわいを持続的に確保することを目的に主要な鉄道駅を中心に設定されている。

現在は、図面やパースの作成、設計積算などを直営で実施したポケットパーク整備工事が進行しており10月末に完成予定である。本件では、他課をまたがずに計画、設計、施工監理まで一連の業務を通して図面をカタチにでき、現在の職場でなければできない強みであると感じている。



ポケットパーク完成パース

3. おわりに

私は香川県出身ということもあって、入庁当時は地理や言葉、うどん店の少なさに大きな不安があった。しかし、周りの方々から方言、土地勘、既存施設の建設経緯や美味しいお店などを入念に教えてもらえたことで、今では違和感なく豊川市職員として溶け込んでいると自負している。また、私のモットーは「技術者は常に技術力の向上に尽力すること」であるので、毎年国家資格取得に挑戦することを目標にしている。昨年度は1級土木施工管理技士を取得できたので、今年度は技術士取得に挑戦している。

今後とも豊川市の建設行政に貢献できるよう技術力向上に励んでいきたい。

(豊川市 都市整備部 都市計画課 箕野 健一郎)